

2015 年度 公益財団法人信頼資本財団 事業報告書

目次

	ページ
I. 基本方針	2
II 事業内容	
1. 融資事業(公益目的事業1)	2-5
2. 知恵・知見の蓄積事業(公益目的事業2)	5-6
3. 助成事業(公益目的事業3)	6-11
4. 社会デザイン事業(収益事業1)	11
5. 社会企業家育成事業(収益事業2)	11-18
6. 会員制度、寄付獲得事業	18
III. 管理部門	
1. 業務執行体制	18

【添付資料】

添付資料 1 2015 年度 正味財産増減内訳表

添付資料 2 2015 年度 貸借対照表

I. 基本方針

・2015 年度は、社会的事業者の育成・支援をはかること、社会的事業者間のネットワーク化に尽力することによって、社会的事業者全体の底上げにつながり、更なる社会課題の解決に貢献することを目指し事業を実施した。

・社会的事業者ならびにその事業を、支援する個人・企業・団体を増やすための場づくりを都市部・郊外を問わず積極的に行い、コミュニティ化をはかり、社会的事業者が活躍し易い土壌作りに取り組んだ。またこのコミュニティを起点として、新たな社会的事業を創出するための取り組みを行った。

・以上の活動を促進し、財務基盤の安定化をはかるために、寄付の募集や運営するコミュニティスペース活用を通じた財団活動への主体的な参画者の増加を積極的にはかった。

II. 事業内容

1. 融資事業(公益目的事業1)

豊かな人間関係増幅に資する教育事業や地域の抱える課題を解決するコミュニティビジネス、自然環境の回復と向上に資する自然環境保全・整備事業、人間と自然の共生や域活性化に資する第一次産業といった社会的事業に対し融資を行った。

1-1. 通常融資

【第 13 期募集】

- ・受付期間： 2015 年 1 月 6 日(火)～3 月 27 日(金) ※郵送物~~メ~~切:3 月 31 日(火)必着
- ・審査会開催日： 2015 年 6 月 30 日(火)
- ・応募件数： 2 件
- ・一次(書類)審査通過件数： 1 件
- ・実施件数： 1 件

<融資対象者 :株式会社ソノリテ>

代表者名： 江崎礼子

所在地： 東京都中央区築地 3-10-9-7F

事業内容 :

(1)システムコンサルタントおよび周辺サポート

オンライン募金システム開発・導入とそのコンサルタント業務、サーバ情報管理、Web制作やデザインを通じたブランディング・コンセプトづくり、それらに関わる団体基盤整備、顧客情報分析、ファンドレイジングプランの提供。

(2)市民社会創造プロジェクト main1

日本の寄付税制や NPO 法の課題を独自視点から情報発信、寄付や募金に関する団体間連携交流会実施、調査・研究、国内外での政策提言。

- ・契約日：2015年7月31日
- ・融資額：700,000円
- ・返済期間：6ヶ月

【第14期募集】

- ・受付期間：2015年8月3日(月)～10月2日(金) ※郵送物~~は~~切:10月5日(月)必着
- ・審査会開催日：2015年12月16日(水)
- ・応募件数：1件
- ・一次(書類)審査通過件数：1件
- ・当期実施件数：1件

<融資対象者：認定NPO法人箕面こどもの森学園>

代表者名：辻正矩

所在地：大阪府箕面市小野原西6-15-31

事業内容：

- (1)子ども一人ひとりの個性を尊重し、自立的な成長を支援する新しいタイプの小中学校(オルタナティブ・スクール)の運営。(2015年1月ユネスコスクール認定)。
- (2)おとなの対話文化を育むための教育カフェマラソン、子育て中の方を応援する子育てカフェ、教員や学生さんを支援する子育てカフェなどの開催。

- ・契約日：2016年契約予定
- ・融資額：1,000,000円
- ・返済期間：1年

【継続実施】8件

1. RosyFutureProducts 株式会社(融資額 1,000,000円/期間 2012年10月26日～2015年4月30日)
2. ファームアンドカンパニー株式会社(融資額 1,000,000円/期間 2013年2月8日～2015年4月30日)
3. 般社団法人スマイルゲート(融資額 1,000,000円/期間 2013年12月24日～2016年1月31日)
4. 株式会社ラボアンドタウン(融資額 1,000,000円/期間 2013年8月22日～2015年8月31日)
5. 株式会社ウィルモア(融資額 1,000,000円/期間 2013年9月15日～2015年8月31日)
6. 株式会社HubTokyo(融資額 1,000,000円/期間 2014年9月3日～2016年8月31日)
7. 特定非営利活動法人グリーンズ(融資額 1,000,000円/期間 2013年11月6日～2015年10月30日)

8. 株式会社和える(融資額 1,000,000 円/期間 2014 年 3 月 10 日～2016 年 2 月 28 日)

1-2. つなぎ融資

国または地方公共団体ないしそれに準じる組織から補助金、助成金等の交付を受けるまでの資金のつなぎを目的とする融資

【実施状況】

- ・募集: 随時
- ・応募件数: 3 件
- ・実施件数: 3 件

<融資対象者 1: 兵庫県有機農業活性化協議会>

代表者名: 光岡大介

所在地: 兵庫県西宮市高松町 5-39 なでしこビル 8 階

事業内容:

下記事業を通して、有機農業生産者、NPO、市民、事業会社(飲食、流通、製造)、行政が一体となり、県内有機農業の活性化、市民の健康増進、地域環境保全に寄与する。

- (1)交流事業、情報発信事業
- (2)有機農産物の流通促進事業
- (3)有機農産物の加工品開発事業
- (4)有機農業者のサポート事業

- ・契約日: 2015 年 4 月 8 日
- ・融資額: 2,000,000 円
- ・返済期限: 契約日の 2 ヶ月後

<融資対象者 2: 一般社団法人復興応援団>

代表者名: 佐野哲史

所在地: 宮城県本吉郡南三陸町歌津字柁沢 83-6-20

事業内容:

- (1)地域の担い手コンサルティング事業
南三陸町の起業家へのコンサルティング、事業そのものの成長に貢献。
- (2)地域のファンづくり事業
南三陸町を中心とする復興の担い手の元にツーリズム形式でボランティア派遣。担い手にファンをつける。
- (3)物販事業
自社 EC サイト「物語屋」と物産展での物販。売上アップとファン拡大の一助。
- (4)防災減災事業
避難所の運営に関わっていた人々にヒアリングし制作したケーススタディ集に基づいた、

首都圏のデベロッパー等を対象とした防災減災研修やコンサルティング事業。

- ・契約日： 2015 年 4 月 14 日
- ・返済額： 3,000,000 円
- ・返済期限： 契約日の 3 ヶ月後

<融資対象者 3： 特定非営利活動法人英田上山棚田団>

代表者名： 同上

所在地： 同上

事業内容：

同上

- ・契約日： 上記つなぎ融資返済後 2015 年 7 月 13 日
- ・返済額： 3,000,000 円
- ・返済期限： 契約日の 9 ヶ月後

1-3. 金融機関との協働融資

融資の実行は京都信用金庫が行うが、当財団は一次審査を担当する。同信金が二次審査を実施、最終判断する。審査に関与し、被融資事業者が同信金に支払う利子相当額を当財団が助成することによって、事業のステージを上げるために当財団融資枠を超える額の需要が生じている社会的事業者を支援する。

【実施状況】

- ・募集： 随時
- ・相談件数： 2 件
- ・応募件数： 1 件
- ・実施件数： 0 件

【継続実施】 2 件

1. 株式会社坂の途中
2. NPO 法人エクスクラメーションスタイル

2. 知恵・知見の蓄積事業(公益目的事業2)

2-1. 知恵・知見および人的ネットワークの蓄積

融資事業(公 1)や助成事業(公 3)の対象事業者とその応援団ともいえる信頼責任者 1 事業者につき 3 名の知恵・知見および人的ネットワークをデータベースに登録することにより、社会的事業に資する良質な知恵・知見および人的ネットワークの蓄積を引き続き行っている。

当年度も、新たに融資・助成事業の対象となった事業の各代表者から提供される「社会に還元できる知恵申請書」とその信頼責任者から提供される「信頼責任者申込書」に基づいた知恵・知見の蓄積および人的ネットワークの蓄積を行った。

2-2. 登録情報の精査

次年度新たなウェブシステム上で知恵知見を公開するにあたり、既に融資・助成事業実施が終了している代表者および信頼責任者に対して、当年度以降の知恵・知見データ提供の意思確認を行い、現在活用可能なデータか否かの精査を行った。

また、当年度以降の融資実施事業については、実施終了後の継続的なデータ提供を必須とするよう、応募要項及び必要資料を改訂した。

【精査後データ登録者数】

融資対象事業代表者・信頼責任者 登録数	51名
助成対象事業代表者・信頼責任者 登録数	193名
全登録者数	244名

2-3. 新たなウェブシステム公開のための準備

当財団融資先の社会的事業家が抱える課題を、他の融資助成先の社会起業家・信頼責任者・当財団関係者と共に解決を試みるアイデアソンを開催し、知恵知見活用事例の在り方を調査した。

<開催概要>

- ・開催日：7月12日(日)
- ・タイトル：文殊の知恵を超えろ！課題解決型イベント(アイデアソン)
「社会起業家の抱える課題解決～都市と地域のコミュニティ課題を皆で解決する」
- ・スピーカー：2名(当財団融資先代表者)
- ・参加者数：25名(当財団融資先代表者・同信頼責任者・当財団関係者)
- ・成果：社会的事業家が抱える社会や事業の課題を当財団の知恵・知見ネットワークを活用しながら考える企画を実施。温めていたアイデアについて知恵・知見をいかに活かすことが出来るかを考察する機会となった。また、当財団のネットワーク内で、活動をサポートし合う関係性を生み出すことが出来た。

3. 助成事業(公益目的事業3)

豊かな人間関係の回復と向上に資する社会福祉、教育事業や地域の抱える課題を解決するコミュニティビジネス、または自然環境の回復と向上に資する自然環境保全・整備事業や人間と自然の共生、地域活性化に資するような第一次産業などの社会的事業に対し助成を行った。

助成は、「ありがと本」と呼ぶ、本を

【実施団体】 20 団体

(円)

助成先団体名	寄付額合計	手数料	助成金額
特定非営利活動法人チームレスキュー	386	249	137
公益財団法人国際センター	2,005	201	1,805

特定非営利活動法人神戸国際ハーモニーアイズ協会	2,577	689	1,888
特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会	2,803	700	2,103
特定非営利活動法人オン・ザ・ロード	3,271	327	2,944
公益社団法人日本オストミー協会	4,456	1,094	3,362
特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋	4,853	917	3,936
特定非営利活動法人 ETIC.	15,000	2,090	12,910
一般社団法人 KYOTOGRAPHIE	19,200	2,572	16,628
公益社団法人難民起業サポートファンド	44,914	5,355	39,559
特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン	53,983	6,046	47,937
一般社団法人源流地域資源再生ネットワーク	100,000	14,452	85,548
構想日本	772,010	101,653	670,357
一般財団法人教育支援グローバル基金	716,000	40,978	675,022
一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター	3,190,840	166,986	3,023,854
特定非営利活動法人キッズドア	5,965,152	604,474	5,360,678
東日本大震災子ども未来基金	6,636,000	52,620	6,583,380
一般社団法人 Japan Treasure Summit	10,800,000	815,840	10,279,160
一般社団法人グリーンピース・ジャパン	40,000,000	1,000,420	38,999,580
一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト	51,000,000	1,000,000	50,000,000

<各団体詳細>

1. 特定非営利活動法人チームレスキュー

代表者名： 小野 聡美

所在地： 愛知県瀬戸市市場町 13 番地

事業内容： 東日本大震災直後から宮城県七ヶ浜町を拠点に、復興支援活動を行う。

2. 公益財団法人国際センター

代表者名： 秋尾 晃正

所在地： 東京都新宿区山吹町 337 江戸川橋東誠ビル 5F

事業内容： 子どもたちの豊かな想像力と思考力を育むため、ラオスの子どもたちに図書セット（約 150 冊の本が入った木箱）を贈る事業を行う。

3. 特定非営利活動法人神戸国際ハーモニーアイズ協会

代表者名： 渕上 智信

所在地：兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-7-4

事業内容：市民の共働によって、「心育まれる希望あふれる社会」を実現すべく、海外の貧困地域への自立支援活動や環境保護活動など、様々な社会問題への取り組みを行う。

4. 特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

代表者名：関口 宏聡

所在地：東京都中野区上鷺宮 3-13-1 鷺宮ガーデンハウス A2

事業内容：震災復興の為にNPOと政府の連携を促進するプラットフォーム作りと運営サポートを行う。

5. 特定非営利活動法人オン・ザ・ロード

代表者名：高橋 歩

所在地：東京都世田谷区北沢 2-33-5 下北沢 TKSビル 3階

事業内容：インド、ウツタルプラディーシュ州のラームナガルという町で、フリースクール(無料で通える学校)「マザーベイビースクール」を運営。

6. 公益社団法人日本オストミー協会

代表者名：笹岡 勁

所在地：東京都葛飾区東新小岩一丁目 1 番地 1 号の 901 トラスト新小岩 901 号

事業内容：オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)が安心して暮らせるための活動を行う。

7. 特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋

代表者名：若菜 多摩英

所在地：岩手県花巻市田力第 9 地割 24 番地

事業内容：寄り添い型の相談で、個々人に合った支援計画の下、ママの自律・自立を支援する。また、“サロン”を運営し、ママの自己肯定感・自尊感情を体験的に獲得する場とする活動を行う。

8. 特定非営利活動法人 ETIC.

代表者名：宮城 治男

所在地：東京都渋谷区神南 1-5-7 APPLE OHMIビル 4階

事業内容：被災地で、福祉・教育・コミュニティ再生や産業復興の新しい事業を立ち上げ復興にかけるリーダーの元に事業のスタートアップを加速させるサブリーダーを派遣、被災地で勉強会やリソースマッチング等事業推進のサポートも実施。

9. 一般社団法人 KYOTOGRAPHIE

代表者名：仲西 祐介

所在地： 京都府京都市北区鞍馬口通西入ル新御霊口町 270

事業内容： 日本の古都・京都を舞台に、伝統文化と現代アートの融合を図る国際写真フェスティバル。いまだ評価の遅れている写真芸術の理解に一石を投じるべく、国内外の写真家および写真作品を世界的な視点で選出し、京都市内のギャラリーやカフェなど約 50 カ所にて紹介に努める。

10. 公益社団法人難民起業サポートファンド

代表者名： 吉山 昌

所在地： 東京都新宿区四谷 1-7-10 第三鹿倉ビル 6 階

事業内容：“難民起業家”をマイクロファイナンスと経営支援で支えている。この活動により難民個人や難民コミュニティの状況改善を実現する。

11. 特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン

代表者名： 浦辺 徹郎

所在地： 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院 農学生命科学研究科フードサイエンス棟 4 階

事業内容： 若者を世界各地で実施される生物多様性保全などの調査研究プロジェクトに派遣し、地球環境保全の重要性の認識と知識を得る機会を提供するプログラムを行う。

12. 一般社団法人源流地域資源再生ネットワーク

代表者名： 池田 徹

所在地： 新潟県十日町市四日町 1426 の 6

事業内容： 日本の源流地域に息づく自然、歴史、文化、伝統、技、英知等の「たからもの」の再発見と地球環境と折り合いを付けながらも質の高いライフスタイルを探求し、信頼で繋がる未来社会を創生するための事業を行う。

13. 構想日本

代表者名： 加藤 秀樹

所在地： 東京都千代田区平河町 2-9-2 エスパリエ平河町 3F

事業内容： 政策研究で終わりではなく、議員、行政職員、企業経営者、研究者など、様々な世界で活動している人たちと連携して、その経験や問題意識を政策にして、知恵を結集して政策を実現する活動を行う。

14. 一般財団法人教育支援グローバル基金

代表者： 藤沢 久美

所在地： 東京都渋谷区神南 1-5-7 ETIC.内

事業内容： 東日本大震災で被災した若者がグローバルに活躍するリーダーへと成長することを

支援することを目的とした事業として包括的なリーダーシップ支援事業を実施。

15. 一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

代表者： 山本 隆

所在地： 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

事業内容： 国内外で起こる災害に対し、スタッフ・ボランティアを現場へ派遣し、素早くかつ大規模に被災者支援を行う。活動内容は、支援物資の配布、炊き出し、泥かきなどの清掃作業、避難所・仮設住宅居住者へのサポートなど、行政による公助では十分な対応が追いつかないもの
が中心。

16. 特定非営利活動法人キッズドア

代表者： 渡辺 由美子

所在地： 東京都中央区新川 2-1-11 八重洲パークビル 7 階

事業内容： 親の収入によって教育機会を奪われてしまいがちな子ども達へ無料の学習支援を中心
に、すべての子どもが夢と希望のもてる社会の実現に向け「子どもの貧困」および「教育格差」
を解決するための活動を行う。

17. 東日本大震災こども未来基金

代表者名： 高成田 享

所在地： 仙台市青葉区大町 2-3-12 大町 マンション 902 号室

事業内容： 東日本大震災により親を亡くし、厳しい学習環境におかれている子どもたちが学業
を続けていけるように、経済的な支援を行う。

18. 一般社団法人 Japan Treasure Summit

代表者： 小宮山 宏

所在地： 東京都渋谷区南平台町 6-4-201

事業内容： 学術芸術のすばらしさ伝え、寄附により学術芸術を支える文化の醸成について考え
る機会を提供するサロン活動を行う。また、人材育成として学術芸術活動のためのファンドレイザ
ー育成プログラムを展開する。

19. 一般社団法人グリーンピース・ジャパン

代表者： 細川 弘明

所在地： 東京都新宿区西新宿 81-13-11 NF ビル 2F

事業内容： グリーン(緑豊か)でピース(平和)な世界を願う市民の立場で活動する国際環境
NGO。地球規模の環境破壊を止めることを目的として、気候変動/エネルギー、食と農業、有害
物質、森林問題、海洋生態系、平和の分野にわたり事業を行っている。主な活動手法として、環
境破壊の現場での調査、科学的な分析結果に基づいたレポートや代替案の作成、メディアなど

への情報提供、国連「総合協議資格」を利用して国際会議での働きかけや交渉過程の監視、政府・企業への代替案の提案・要請を行う。

20. 一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト

代表者： 星川 淳

所在地： 東京都文京区湯島 2-9-10-2F

事業内容：「自然環境と人間生活の調和を目的とした市民の主体的行動を支援する」という事業目的に沿って、(1)ネオニコチノイド系(浸透性)農薬のリスク低減、(2)脱原発・エネルギーシフト、(3)東アジア環境交流の3分野で公募助成および企画助成による問題解決型の支援と、市民活動促進のための環境醸成および触媒作用を図る自主企画を実施。

4. 社会デザイン事業(収益事業1)

4-1. 京都市からの受託業務

昨年度から継続の受託事業である「京都市ソーシャルビジネス認定制度の策定にむけた研究業務」の実務を行った。

- ・受託事業名：「京都市ソーシャルビジネス認定制度の策定にむけた研究業務」
- ・受託期間：2014年4月21日～2015年3月31日
- ・受託費：3,000,000円(うち、消費税及び地方消費税相当額222,222円)
- ・実施内容：同認定模擬審査会への参加及び審査

4-2. 「京都市ソーシャルビジネス認定委員会」審査員業務

当財団理事長が審査員として参加した。

4-3. 京都府「京の公共人材大賞」審査員業務

4-4. 企業に対するサービス提供

当財団理事長が審査員として参加した。

企業に対し地域振興に寄与する農作物の受注先紹介を行った。

紹介料(計2回) :535,281円

5. 社会企業家育成事業(収益事業2)

5-1. シンポジウム、セミナー、ワークショップの開催

社会的企業家育成や社会的企業および企業の先進事例の紹介や社会的企業家同士の情報交換、経営・運営における諸問題に関する相談などを目的としたシンポジウム、セミナー、ワークショップを開催。

A. ソーシャルシネマ・ダイアログ

社会課題を扱った映画を上映後、その映画に関係する社会的課題についてのダイアログ(対話)を行うイベント。以下の通り、京都にて計2回開催した。なお、ゲストはボランティア(交通費含む実費負担)での協力を得た。

開催実績

日程	開催場所	上映映画	ゲスト	参加者数
7月4日(土)	京都	「未来の食卓」	祁答院 弘智氏(株式会社リレーション代表/NPO 法人グリーンバレー理事)	62名
10月3日(土)	京都	「バベルの学校」	仲西 祐介氏(KYOTO GRAPHIE 共同代表)	51名

B. そもそも談義

世の中の様々な存在や事象について、「そもそもそれはどういうことだったのか」という視点で対話を行い、現在の社会課題の本質に迫るイベント。以下の通り京都にて5回、東京にて5回、計10回開催した。なお、ゲストはボランティア(交通費含む実費負担)での協力を得た。

【開催実績・京都】

日程	テーマ	ゲスト	参加者数
2月5日(木)	そもそも伝統とは	吉田 恒 氏	吉田装束店代表 22名
3月19日(木)	そもそも孤独とは	・佛國寺 黙雷 氏 ・薬師庵 妙円 氏	・自然宗佛國寺 山主 ・同寺 代表役員 / 住持職 ・自然宗佛國寺 公益事業「いのちの学校」校長 20名
5月7日(木)	そもそも流行とは	佐藤 友美子 氏	追手門学院大学特別任用教授兼地域文化創造機構特別教授 / 当財団融資審査員 25名

6月10日(水)	そもそも食とは	・山本 彌恵子 氏 ・佐藤亜矢 氏	・(株)ケネスインターナショナル代表 ・株式会社リーラ代表	20名
8月6日(木)	そもそも国家・市民・民主主義とは	熊野英介 氏	当財団理事長	33名

【開催実績:東京】

日程	テーマ	ゲスト		参加者数
5月21日(木)	そもそも日本とは① そもそも日本文化とは	Norman Havens 氏	國學院大學神道文化学部教授	23名
6月26日(金)	半農半Xを提唱する塩見直紀氏が語る、 そもそも“生きる”とは① ～デザインする集落の果てしない可能性～	塩見直紀 氏	半農半X研究所代表/ 当財団シニアフェロー	18名
7月23日(木)	そもそも日本とは① そもそも「住まふ」とは	・土谷 貞雄氏 山田 貴宏	・株式会社貞雄 代表 / 建築家 / 当財団シニアフェロー ・一級建築士事務所 ビオフォルム環境デザイン室 代表 / NPO 法人 トランジションジャパン理事 / NPO 法人 パーマカルチャーセンター ジャパン理事	10名
9月25日(金)	半農半Xを提唱する塩見直紀氏が語る、 そもそも“生きる”とは② ～窒息しない経済を求めて～	塩見直紀 氏	半農半X研究所代表 / 当財団シニアフェロー	21名
11月19日(木)	そもそも日本とは③ そもそも「纏ふ」とは	・山口源兵衛 氏 ・堀畑 裕之 氏 / 関口 真希子 氏	・帯匠誉田屋源兵衛 十代目 ・matohu	19名

C. 社会的事業塾

当財団理事長を塾長として、心の思いを形にする技術としての社会的事業を学ぶ事業家育成塾「A-KIND 塾(あかいんど塾)」を開講した。社会人経験者及び、起業もしくは正規雇用経験がある学生を対象に、「KIND=親切な、優しい、思いやりのある、親切で、心からの」という目には見えない、耳には聞こえない価値を形にし、売り手良し・買い手良し・世間良し・未来良しという「四方良し」の持続可能な社会貢献を行うことで、企業の生存確率をあげ、利益を上げるための原資である信頼関係を増幅するという視点に立った講義を実施。ビジネスの原点である「人の心を掴み」拡大再生産を行うことを、講師・起業家同士で学び合う場を提供した。当年度以降、本塾卒業生を中心とした社会起業家コミュニティを形成していく。

- ・開催日： 5月27日(水)、6月24日(水)、7月22日(水)、8月26日(水)、9月24日(木)、10月28日(水)、11月21日(土)、12月22日(火) 全9回
- ・受講者数： 20名
- ・成果： 4チームに分かれ、フリーマーケットにて「社会的行動動機による購買動機」を促す「ライフスタイル必需品」の提案・販売を行った。

D. セミナー、講演会講師(熊野理事長、理事)

京都市を主催として開催された、全国の社会的事業の事例共有を目的とした「ソーシャル・イノベーション・サミット」内の2日目の企業訪問先となり、熊野理事長が講師を担当した。

- ・事業名：京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業
- ・日程： 12月18日(金)
- ・内容： 「社会(化)見学 風伝館コース」における見学者20名に対する講師
- ・謝金： 22,274円(うち10.21%所得税)

E. ギャザリング・融資完済イベント

例年京都で開催している 財団関係者が一堂に会する信頼デイ に続き、東京でも社会的事業家や見識者が集うギャザリングを開催。社会的事業を通して構築を試みる社会像について議論し方向性を揃えると共に、事業を継続していくことについての実体験や価値について語ることで、社会的事業及び財団活動への共感・参画者獲得を目的とした。

- ・開催日： 6月6日(土)
- ・タイトル： 第1回「信頼ギャザリング in TOKYO」
- ・参加者数： 36名
- ・プログラム：

部	プログラム名	登壇者
【第1部】	パネルディスカッション	当財団役員・シニアフェロー・フェロー・

	『信頼』は、資本になるのか？」	アドバイザーボードメンバー
【第2部】	共感ギャザリング 「ソーシャルビジネスの現場力とは？」	当財団共感融資・共感助成事業代表者

F. 社会的事業創出イベント

自己と社会の欲求の重なりを発見し、仲間と共に社会的事業を創出のワークショップを行うツールを作成。昨年度より京都にて開催していた会員「信頼衆」を中心とした集いの場「シンライノテーブル」を再設計し、ここで月に1度ワークショップを開催した。京都の他にも、熊本県熊本市・滋賀県彦根市にて1度ずつ開催があった。

- ・開催日：2月20日(金)、3月20日(金)、4月17日(金)、5月15日(金)、6月19日(金)、7月17日(金)、8月21日(金)、9月18日(金)、10月16日(金)、11月20日(金)
- ・参加者数：各回10～15名程度

G. 信頼デイ

年1回、財団の活動広報のために京都で実施。本年度は、財団役員関係者や融資・助成団体代表者を中心とした全国の社会的事業実践者を登壇者としたリレートークを行い、一般の参加者に向けて財団が目指す社会の方向性を広く指し示すと共に、その具体的構築について提案・議論する場として開催した。参加者の満足度が高く、財団活動への共感者を獲得することに成功した。尚、全ゲストからボランティア(交通費含む実費負担)での協力を得た。

- ・開催日：11月14日(土)
- ・タイトル：第3回信頼デイ「そもそも信頼も資本になる社会とは？
～財団がその仲間と考える～ 主催：信頼資本財団」
- ・参加者数：123名
- ・参加者満足度(「とても面白かった」もしくは「面白かった」と回答した人の割合)：94.7%

・プログラム：

【第1部】	「幸を求めて不幸になった」
登壇者	スピーカー ・橋川 幸夫 氏(デジタルメディア研究所 代表 / 当財団シニアフェロー) ・田中 優 氏(未来バンク理事長 / 当財団評議員) ・西田 治子 氏(一般社団法人Women Help Women代表理事 / TEDx Tokyo Partner Curator / オフィスプロネシス代表 / 当財団アドバイザーボードメンバー) ・高橋 陽子 氏(公益社団法人日本フィランソロピー協会理事長 / 当財団評議員)

	<p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷崎 テトラ 氏(構成作家 / 一般社団法人ワールドシフト / ネットワークジャパン代表理事 / 当財団シニアフェロー)
【第2部】	「未来に向かって逃走する」
登壇者	<p>スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢部 寛明 氏(アショカジャパン ユースベンチャー・リーダー / NPO法人底上げ 代表理事 / 当財団フェロー) ・松榮 秀士 氏(PaKT 統括 / 勉強した先が見える塾マナビノバ塾長 / 当財団フェロー) ・宮内 孝輔 氏(株式会社MicroNations代表取締役 / 当財団融資先) <p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊倉 聖子 氏(おおきなかぞく発起人 / 当財団アドバイザーリーボードメンバー)
【第3部】	「迷惑をかけて突破する」
登壇者	<p>スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牧 大介 氏(株式会社森の学校ホールディングス代表取締役) ・伊藤 伸 氏(一般社団法人構想日本理事・統括ディレクター / 当財団助成先) ・西尾 直樹 氏(株式会社聴き綴り本舗 代表取締役) <p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊野 和子 氏(当財団アドバイザーリーボードメンバー)
【第4部】	「非常識を糧に覚悟する」
登壇者	<p>スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星川 淳 氏(一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト理事長 / 当財団助成先) ・西口 和雄 氏(一般社団法人上山集楽 代表理事 / 当財団融資先) ・仲西 祐介 氏(KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 共同代表 / 照明家 / 当財団助成先) <p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊野 英介 氏(当財団理事長)

H. 協働イベント

①社会的事業をテーマとした学生向けイベント

行政・企業と連携して、社会的事業(ソーシャルビジネス)に対する若い世代の関心・視座を高めることを目的としたイベントを開催。志を持って働く社会人の対話・交流の機会を提供することにより、主体的に未来を創る仕事である社会的事業の魅力を伝えると共に、社会起業家のプラットフォームを提供する財団への共感・参画者獲得に繋げることが出来た。なお、ゲストからはボランティア(交通費含む実費負担)での協力を得た。

- ・開催日： 4月4日(土)
- ・タイトル： 素敵に面白いオトナたちと、「働く」ことを話しあい大会 vol.02
- ・共催： アミタホールディングス株式会社
- ・後援： 京都市、KBS 京都、大学コンソーシアム京都
- ・参加者数： 113名
- ・全体満足度： 85.7%
- ・プログラム：

【第1部】	「ソーシャルビジネスのホンネのところで」トークライブ	参加者満足度
概要	ソーシャルビジネスのトップランナー3名によるトークセッション。行政、企業、NPO、それぞれの立場から見たソーシャルビジネスの面白さ、難しさ、魅力を語る。	(「とても面白かった」もしくは「面白かった」と回答した人の割合) 82%
ゲスト	行政、企業、NPO にてソーシャルビジネスに携わる社会人 各1名、計3名	
【第2部】	「仕事の価値観を探す」ワークショップ	(以下同上) 82%
概要	社会人を交えた少人数のワークショップを通じて、学生が仕事選びの上で大切にしたい「軸」を見つける。	
プログラム提供	特定非営利活動法人 full bloom	
【第3部】	「口にしないとはじまらない」素敵な大人とダイアログ	93%
概要	少人数のグループに分かれソーシャルビジネスという仕事について対話。学生が社会人たちの体験談を聞き、相談しながら、将来働く上でのビジョンを具体化する。	
ゲスト	行政、企業、NPO に所属する社会人 28名	

②「TEDx Kyoto 2015」ブース出展

11月8日(日)に開催された「TEDx Kyoto 2015 “Courage x Creativity”」にリーディングパートナーとしてブース出展し、来場者300名以上に対して活動紹介を行った。

I. シンライフスタイル

信頼をベースにした循環型コミュニティづくりによる地域課題への貢献を目指し、豊かな「暮らし」の手仕事を学ぶ場として開催。昨年同趣旨の企画として実施した農作業練習会に続き、本年度は「シンライフスタイル～ツリーハウスプロジェクト～」として、衣食住を自給できる技術の1つとして「住まい」を自らの手で作る技術を身につけること、また作業を通じた仲間づくり、中山間地域と都市との交流を目的とした。一級建設事務所の指導を受け、数ヶ月かけて実際にツリーハウスの設計・建築を体験するプログラムを提供した。

- ・開催日：5月31日(日)、6月28日(日)、7月25日(土)、8月29日(土)-30日(日)、9月5日(土)-9月6日(日)、9月19日(土)、10月25日(日)、11月21日(土)

・参加者数： 18 名

6. その他

6-1. 会員制度

会員制度「信頼衆」は、これまで財団活動への参画主体としてのコミュニティであると共に、財政基盤確立のための制度であった。しかしながら、今後は前者の財団活動への主体的な参画者獲得という目的達成に注力するため、6月1日を以て会員制度を廃止した。

6-2. 支部設立

北九州に支部設立希望者が現れたため、理事会で検討し、次年度設置することを年度末に決定した。

Ⅲ. 管理部門

・2月25日を以って、京都市下京区の前事務所から現在の京都市上京区の現事務所に移転した。現事務所がある町屋は、コミュニティスペース及び管理者であるアマタホールディングス株式会社のミュージアムを併設しており、市場よりもはるかに低い家賃設定を頂いている代わりに、管理者の委託を受け、両スペースの運営管理を行っている。

・運営拠点を京都に移転したことから、全員が関東在住者であるこれまでの理事を評議員に移行し、新たな理事として関西在住の社会的事業関係者3名が就任した。

・東京での活動周知及び基金設立に向けた調査のため、東京在住のアドバイザーボードメンバー西田治子氏と1年間の業務委託契約を締結した。

・昨年度のwebサイトアップデートに引き続き更なる広報の充実化をはかるため、8月～12月までの5ヶ月間、デザイナーと試験的に業務委託契約を締結した。

以上